



森の息吹

No.157 5月号
2019. 4月23日発行
編集代表：五賀利雄
0133-26-3738

4月の活動

協働の森の会の総会・シイタケの植菌

4月7日(日)「弁華別協働の森の会」総会と学習会役員会 シラカンバ参加者 6名
(株)キョウドウの会議室において2019年度「弁華別協働の森の会」総会が開かれ
シラカンバより6名が参加しました。



会長の挨拶の後、2018年度活動報告では活動状況・活動の成果
今後の課題の3項目の報告が行われました。

続いて、2018年度の活動経費の収支状況の報告がありました。

次に、2019年度活動計画(案)の報告がなされ

第2期の活動目標・活動計画・予算(案)の報告が行われました。

詳しくは同封(会員のみ)レジメをお読み下さい。

続いて学習会が行われ、「砂防ダム・治山ダム」の話を講師の笹氏よりスライドを交えて
興味深い話をお聞きすることが出来ました。

4月21日 シイタケの原木に植菌作業 天候 晴れ 参加者 11名

恒例行事の道民の森管理事務所が開催しているシイタケの
植菌作業の手伝いを行いました。シラカンバの持ち分は40本で



ドリルでの穴あけ作業にシイタケ菌の
コマ打ちなど手慣れた作業で30分
ほどで終了し、各自1本ずつホダ木を
頂きました。



その後、シラカンバ用のホダ木を石狩
北部森林組合で調達し山田倉庫にて

100本のシイタケの菌うちを行いました。

今年初めての本格的作業でもあり、原木を運ぶだけでも重労働でした。



100本の穴あけと菌うちは予想外に疲れる
作業で昼休憩をはさみ2時くらいまでかかり
ました。昨年のホダ木はムシロから出し日陰に
立てかけて、今年のホダ木は重ねてムシロを
かぶせ水をかけて終了となりました。

作業終了後に桜田氏の案内の下で「こしゃく」
という山菜をとりに出かけ、暖かい日差し
の中での活動のシメとしました。



編集者より

いよいよ、本年度の活動が始まりました。シイタケの菌うちごときでへこたれていたらこれからの外作業は
出来ません。冬の間になまった体を鍛えなおして今年1年怪我なく無理せず余裕を持ち活動を楽しみましょう。

会員名簿・「協働の森の会」総会資料・グリーン保険パンフなど同封します。

なお、協働の森の作業日程の追加(6月16日 10月6日 11月3日 12月1日)があります。

森の会総会資料で確認をお願いします。

リレーコラム

鳥海山

桜田 昭嘉

昨年秋に学生時代からの友人が肺がんを再発したので見舞いに酒田市を訪れた。晴れ間から鳥海山の頂が望まれた。鳥海山は秋田県と山形県の県境で日本海に突き出したように位置している。東北地方の最高峰（2236メートル）で秀峰である。鳥海山に関しては苦い思い出がある。

3歳から8歳まで鳥海山の麓の遊佐町に住んでいた。朝な夕な、この山を見ながら生活していた。

いつの日かあの山の頂に立ちたいと思っていたが縁あって山形で大学生活を送ることになり、山岳部の活動の中で東北の山を登ることになった。

1年目の11月の初旬に鳥海山で合宿があり遊佐町から登ることになったが、湿った雪の吹雪にさらされ散々な目にあい頂に立つ事はかなわなかった。



日本海に面したこの山は過酷な気象条件に見舞われることが多く、特に晩秋は最悪の状況であった。

翌年、翌々年と挑戦したが、頂に到達することは出来なかった。長年の山行で3度も続けて失敗した山は他にはないので、酒田市に行く度に鳥海山を見上げては苦い思い出にひたることになる。

見舞った友人は思いのほか元気で、久しぶりに杯を重ねる事が出来た。しかし、今年の元旦に彼が亡くなったとの報を受けた。合唱。

5月の活動案内

安全作業に 努めましょう

木に触れて
林で遊び
森と育つ

5月5日(日) B班

内容 午前：「弁華別協働の森の会」作業・樹木の植栽・苗畑（床替え）など
午後：山田山林にて140年の森の補植用稚樹の採取

集合場所 山田氏倉庫前 集合時間 8:45

作業場所 午前：(株)キョウドウ事務所裏側にて
打ち合わせ後協働の森に移動

午後：山田山林にて作業

持ち物 スコップ・軍手・長靴・弁当・飲み物

5月18日(土) A班

内容 ①140年の森 下草刈り 補植

②山田氏倉庫前苗圃整備と山菜観察

集合場所 山田氏倉庫前 集合時間 9:30

持ち物 腰道具・鎌。刈払い機・軍手 弁当 飲み物など

